

■ **3歳児から5歳児までの一貫性のある教育を目指して**

桂川幼稚園 校長 城石 俊弘

国が定める幼稚園教育要領では、左記の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を掲げ、教師が指導を行う際に考慮することとしています。

- ① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 生活の関わり ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

本園もこの10の姿をふまえて計画的に指導を行っています。しかし、育ってほしい姿が短期間で身につくわけではありません。5歳児の終わりを見通した3歳児からの積み重ねがとても大切です。

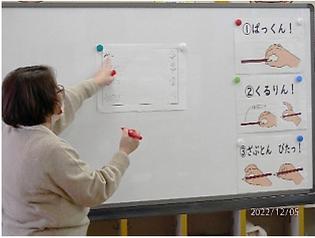
そこで本園では、昨年度1年間をかけて「桂川幼稚園育ちと学びの接続プラン」を作成し、本年度から活用を始めました。このプランは、学期ごとに年少児、年中児、年長児のそれぞれでめざす姿を「からだ」、「ことば」、「かず」、「ともだち」、「せいしかつ」の5つの領域に分けて具体化したものです。

各学期の終わりには、クラスごとに何がどこまでできているのか、課題は何かを出し合いながら、次の学

期に取り組むことについて話し合っています。

このように、次の1学期間、次の1年間を意識しながら指導を積み上げていくことが、3歳児から4歳児へ、4歳児から5歳児へとつないでいく、切れ目のない教育に結びつくと考えています。

3学期は進級や卒園・入学に向けた準備の期間であり、特に年長児にとっては、小学校生活が目の前に迫ってきます。これまで続けてきた小学生との交流活動を通じた学びに加え、規範意識や自尊感情、学ぶ意欲、基本的生活習慣などの土台づくりに引き続き力を入れ、スムーズな小学校生活のスタートにつなげたいと思います。



▲鉛筆はこうやって持つんだよ



▲先生の話はしっかり聞こう！

■ **「1年間を振り返って」**

桂川中学校 校長 石田 英喜

本年度も残すところあとわずかになりました。ここ3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、感染予防に最善の注意を図りながら教育活動を続けていかなばならない日々でした。

そのような中、331名の生徒一人ひとりがそれぞれに考え、悩み、喜び、そして確実にひと回り大きくなったと思います。これもひとえに保護者や地域の皆様方の温かいご支援のおかげだと感謝申し上げます。

この1年、本校の学校教育目標である『自ら学び、夢の実現に努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成』を目指し、学力や体力の向上を重点課題に掲げ、全教職員が力を合わせて授業改善に取り組み、実践してまいりました。

特に今年度は、5月に3年ぶりに体育会を実施することができ、この2月には、2年生も関西方面へ修学旅行に行けるようになりました。このことも、桂川町の教育に対する手厚いご支援と保護者や地域の皆様ご協力ご理解のたまものであると思っております。紙面を借りて感謝申し上げます。

今後は、さらなる学力と体力の向

上並びに学校行事の正常化に向けて頑張りたいと思っています。ご家庭や地域からのさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

